

# 会社概要

## 登録及び許可

建設コンサルタント登録 建06第602号  
 測量業者登録 第(14)2399号  
 地質調査業者登録 質04第86号  
 補償コンサルタント登録 補07第4423号  
 建設業(般-6)第 7789号

## 所属団体

(一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会  
 (一社)熊本県地質調査業協会  
 (一社)全国さく井協会九州支部  
 熊本県農業土木技術研究会  
 (公社)日本下水道協会  
 熊本県簡易水道協会  
 (公社)日本測量調査技術協会  
 (一社)地下水技術協会  
 (公社)地盤工学会  
 (公社)日本技術士会  
 (一社)日本応用地質学会九州支部  
 NPO 法人熊本自然災害研究会(熊本大学工学部)  
 熊本地学会(熊本大学教育学部)  
 (一社)福岡県測量設計コンサルタンツ協会

## 本社

〒862-0920  
 熊本市東区月出2丁目5-74  
 E-mail : ga@toa-c.co.jp  
 TEL : 096-384-2265  
 FAX : 096-384-3867

## 熊本県内の営業所

- 玉名営業所  
玉名市下 1483
- 合志営業所  
合志市幾久富 1909-391
- 菊陽営業所  
菊陽町大字津久礼 645-2
- 大津営業所  
大津町大字岩坂632-1
- 阿蘇営業所  
阿蘇市小野田1433番地
- 宇城営業所  
宇城市小川町北新田 1286-1

- 八代営業所  
八代市鏡町貝洲 163-2-2
- 人吉営業所  
人吉市西間上町 2494 番地 4
- 上天草営業所  
上天草市大矢野町維和 4865 番地 1
- 天草営業所  
天草市浄南町 307-2

## 福岡支店

〒812-0013  
 福岡市博多区博多駅東  
 3-10-15 アトルビル2F  
 TEL : 092-482-6287  
 FAX : 092-482-6301

## 福岡県内の営業所

- 柳川支店  
柳川市下宮永町 677-1
- 北九州営業所  
北九州市小倉南区曾根新田北  
3丁目 13-36
- 久留米営業所  
久留米市三潁町玉満 3565
- 八女営業所  
八女市本町 419-1  
アローフィールド B201

## 営業項目

- 測量部門・点検部門  
溪流調査、基礎調査、3次元測量、  
一級水準、マルチビーム音響測深、  
橋梁点検、コンクリート診断
- 設計部門  
道路、橋梁、河川砂防、上下水道、  
アセットマネジメント、  
斜面崩壊対策、農業土木、  
森林土木、施工管理
- 地質調査部門  
ボーリング調査、各種試験、安定解析  
(斜面崩壊・地すべり・軟弱地盤)  
動態観測、水源調査、さく井工事  
(地中レーダー探査・熱赤外線探査)

- 補償コンサルタント部門  
土地調査・家屋調査・事業損失
- 建設部門  
とび、土工、コンクリート工事、  
さく井工事、水道施設工事、管工事

## 創立

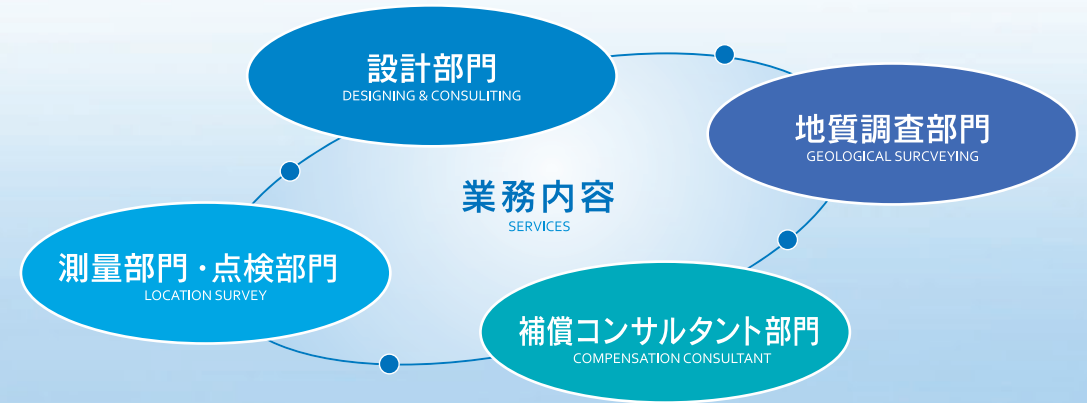
昭和 42 年 11 月 13 日

## 有資格者一覧

■ 土木	
博士(工学) .....	1名
技術士 .....	5名
技術士補 .....	7名
RCCM .....	10名
APEC エンジニア .....	1名
公共工事事業確保技術者(1) .....	1名
下水道二種 .....	8名
測量士 .....	17名
測量士補 .....	7名
農業土木技術管理士 .....	2名
畑地かんがい技士 .....	2名
農業用ため池管理保全技士 .....	3名
林業技士・森林土木 .....	6名
一級土木施工管理技士 .....	14名
二級土木施工管理技士 .....	4名
一級造園施工管理技士 .....	2名
道路橋点検士 .....	2名
熊本県橋梁点検研修会修了者 .....	5名
道路防災点検技術講習会修了者 .....	15名
配管設計講習会修了者 .....	5名
■ 地質調査	
技術士 .....	3名
地質調査技士 .....	6名
地質情報管理士 .....	2名
一級さく井技能士 .....	3名
■ 補償	
補償業務管理士 .....	3名
土地改良補償業務管理者 .....	1名
一級建築士 .....	1名



東亜建設コンサルタントは、  
 人、自然、そして、未来を考えます



人・自然・未来を考える



東亜建設コンサルタント

www.toa-c.co.jp



東亜建設コンサルタント

www.toa-c.co.jp

## 測量部門・点検部門

## LOCATION SURVEY

最新の技術と、豊富な実績で、様々なご要望に信頼でお応えします。

測量部門は、昭和42年の創立当初から時代に応じた最新の測量機器を導入し、三角点測量等の基本測量や地盤沈下観測において、1級水準器を用いた測量を行ってきました。現在も、トータルステーション・1級GPS測量機・1級電子レベル等を保有しており、国土交通省・国土地理院・県・市町村からの委託を受けて、幅広く業務を行っております。

点検部門は、橋梁点検や施設点検、コンクリート診断など、既設構造物の維持管理に関わる業務を行っております。また急傾斜地・土石流・地すべりの基盤調査にも取り組んでおります。

### 【業務内容】

- 渓流調査
- 基礎調査
- 家屋調査
- GPS測量
- 一級水準
- マルチビーム音響測深
- コンクリート診断
- 橋梁点検

### 【当社の特徴】

最新技術の導入を図り、高度化へ対応するため、3次元データを活用するi-construction (アイ・コンストラクショ)への移行を行っております。平成29年度にドローンによる3次元図面作成や地上レーザーによる3次元図面作成を導入しております。



▲ドローン写真1



▲ドローン写真2



▲点検写真1



▲点検写真2

## 設計部門

## DESIGNING & CONSULTING

「生活のインフラ」、そして「生活の安全」を支えています。

設計部門は、計画・調査・設計業務を中心に、官公庁および民間企業を顧客としてコンサルティングを行っております。道路・橋梁・河川砂防・上下水道・パイプライン・農業土木・林業土木・宅地造成など幅広い分野において、土木建設工事に関わる計画から実施設計までを行っております。

### 【業務内容】

- 道路
- 橋梁
- 河川砂防
- 上下水道
- アセットマネジメント
- 斜面崩壊対策
- 農業土木
- 森林土木
- 施工管理

### 【当社の特徴】

設計部門の専門分野は多岐にわたっており、国土交通大臣により複数の【建設コンサルタント登録】を受けております(2022年現在8部門)。設計を行うにあたっては、事業目的や地域特性に配慮したインフラ整備が大切であると考え、各種事業に対して積極的かつ丁寧に取り組んでおります。また成果品を提出して終わりではなく、工事完了までが業務であると考え、日々業務と向き合っております。



▲道路改良設計の事例



▲農業土木における樋門樋管工の設計事例

## 地質調査部門

## GEOLOGICAL SURVEYING

社会資本整備の事業を通じて、社会貢献を目指しています。

地質調査とは、地質・土質・地下水など地下の不可視部分について、地質学や土質工学などの知識や理論をベースに、各種手法を用いて、その「形・質・量」を明らかにすることです。当社では、データの整理や分析のみで終わることなく、目的に応じた解析や判定を行っています。また打合せや作成する報告書は、依頼者が望む技術的情報が的確に、分かり易く表現できるように心がけています。

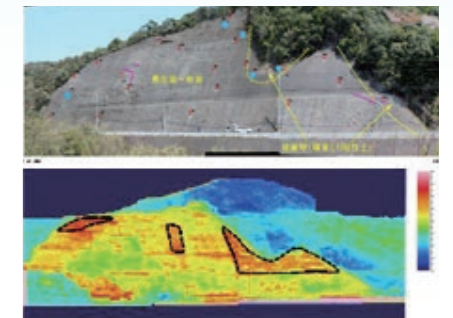
### 【当社の特徴】

当社の受注業務は、社会資本整備に関わる事業が多いことから、軟弱地盤調査から岩盤落石調査まで多岐にわたります。その中でも特に好評な分野が、斜面崩壊や地すべりの調査です。

当社には、測量部門・設計部門があることから、狭義の地質調査のみに終わらず、対策工法の特徴を理解した上での適切で効率的な地質調査を行うことができます。専門力に加え、そのような総合力を評価していただき、緊急性の高い業務や高度な技術力が必要な事業を終えた時には、依頼者から「御社が受注して良かった」という言葉をいただきました。

### 【業務内容】

- 地物理探査・検層 速度検層、電気検層、弾性波探査、電気探査、地中レーダ
- 地表調査 地質踏査、水文調査、落石調査
- ボーリング調査 各種ボーリング調査、地質調査
- 室内土質試験 室内土質試験、サンプリング
- 地下水調査 間隙水圧測定、揚水試験、流動層検層、流向流速測定
- 地すべり 測量、地質調査、対策工の設計
- 斜面崩壊 測量、地質調査、対策工の設計
- さく井 水源開発、井戸設置工事



▲既設のり面・熱赤外線探査



▲地表踏査

## 補償コンサルタント部門

## COMPENSATION CONSULTANT

公共事業を支える補償コンサルタント

公共事業を施行するには、土地を取得したり、建物等を移転したりする必要が生じ、国、地方公共団体等は正当な補償を行います。所有権や借家人等の関係人に生じる損失の補償やこれらに関連する業務を国、地方公共団体等の起業者から受注したり、請負ったりする者(法人又は個人)を補償コンサルタントといいます。

### 【当社の特徴】

公共工事を行う前に『事前調査』を行い、工事後に『事後調査』をおこないます。工事に関係する住居や店舗等の物件において、ひび割れや家の傾きなどの現状を調査し、工事後に同じ箇所を調査します。事前と事後で状況が異なったり、所有者などから不具合の申し出があった場合など工事との関連が認められる損失があった場合は、補償費算定や建物移転などの損失補償算定なども行います。

### 【実績紹介】

- 道路改良工事における事前、事後調査
- 下水道工事に伴う事前、事後調査
- 河川改修工事に伴う事前、事後調査 など

